

近畿支部

支部長 白山宏人

近畿支部では支部大会や教育セミナーを通して多職種との研鑽を行っています。現在は各県で順次開催される近畿支部大会に合わせ、前年の夏と支部年次大会前日に教育セミナーを開催しています。

【近畿支部年次大会報告】

今回は2019年2月3日に第25回近畿支部年次大会を大阪市立総合医療センターさくらホールにて開催しました。今回は約200名の参加を頂いております。

大会会長を進藤喜予先生（市立東大阪医療センター）と高見陽子さん（市立岸和田市民病院）に務めて頂き、大会テーマを「死を背負って生きることを支える～最期に寄り添う人へのケア～」としました。基調講演を田代志門先生（国立がん研究センター）に「死にゆく過程を生きる～現代人の死生観とは～」について、教育講演を副島賢和先生（昭和大学大学院保健医療学研究科）に「ひとりじゃないよ～院内学級の子もたちが教えてくれた大切なこと～」についてそれぞれ1時間ずつお話頂き、参加者も学び多い時間を過ごしております。午後からのシンポジウムでは、「死を背負って生きることを支えるために」をテーマとして、座長を進藤先生と池永昌之先生（淀川キリスト教病院）にお願いし、シンポジストには田村恵子さん（京都大学大学院医学研究科）、山根友香さん（サンライズ訪問看護ステーション）、津野采子さん（ハート介護サービス）、桜井隆先生（さくらクリニック）、多田羅竜平先生（大阪市立総合医療センター）に登壇頂き、地域におけるそれぞれの活動や考えについてお話を頂き、後半のディスカッションでは田代先生にも加わって頂き、フロアからの御意見も交えて約3時間の濃厚な時間を持ちました。御参加頂いた方々からも学びがあった等のお声を頂き、支部としても安堵しております。

次回の第26回日本死の臨床研究会近畿支部年次大会は京都で開催となります。

日 程：2020年2月2日（日）

場 所：京都大学時計台100年記念講堂ホール

（前日には冬季教育セミナーを予定。）

【教育セミナー報告】

年次大会前日の2月2日には開催の教育セミナーを開催、田代志門（国立がん研究センター）先生を講師として、臨床倫理について講義やワークを4時間行っております。参加者は58名、医師や看護師等多職種の方々に御参加頂き、講義やワークにて理解を深めました。

【近畿支部夏季教育セミナーご案内】

日 時：2019年9月1日（土）13：00～17：00

場 所：三菱京都病院・講堂

講 師：白山宏人（大阪北ホームケアクリニック）

テーマ：「もしバナゲーム」で考えるアドバンス・ケア・プランニング

講義とワークを予定しております。

詳細な案内と申し込みは2019年6月頃を予定しています。

2019年11月3日（日）～11月4日（月・祝日）に神戸で第43回日本死の臨床研究会全国大会が開催されます。こちらも支部として盛り立てていきたいと考えております。